

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【公開番号】特開2013-81593(P2013-81593A)

【公開日】平成25年5月9日 (2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2011-222876(P2011-222876)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/032 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月3日 (2014.10.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多数の画素を持つ表示パネルと該表示パネルを背後から照明するバックライトとを有するディスプレイを備え、前記表示パネルの各画素の透過率を変更して前記ディスプレイの画面の背景の中に検査視標を表示する視標呈示装置において、

背景の輝度を第 1 輝度として、検査視標を表示する昼間検査モードと、前記背景の輝度を前記第 1 輝度よりも低く、夜を想定した第 2 輝度として、検査視標を表示する夜間検査モードと、を切換えるモード切換手段と、

昼間検査モードでは前記第 1 輝度となるように前記バックライトの光量及び各画素の透過率を制御し、夜間検査モードでは前記第 2 輝度となるように昼間検査モード時に対して前記バックライトの光量及び各画素の透過率少なくとも一方をさらに低下する制御を行う制御手段と、

を備えることを特徴とする視標呈示装置。

【請求項 2】

請求項 1 の視標呈示装置において、

前記制御手段は、前記モード切換手段によって、前記昼間検査モードと前記夜間検査モードとが切換えられた場合に、検査視標を変更することなく、前記背景の輝度を前記第 1 輝度又は前記第 2 輝度に変更することによって、前記昼間検査モードと前記夜間検査モードとが切換えられた場合に、同一の検査視標を表示した状態で前記背景の輝度を変更することを特徴とする視標呈示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の視標呈示装置において、

前記制御手段は、前記夜間検査モードでは前記バックライトの光量を前記昼間検査モード時と同じとしたまま背景の各画素の透過率を低下させるか、又は前記バックライトの光量を前記昼間検査モード時より低下し、且つ画素の透過率を低下させることを特徴とする視標呈示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は、上記課題を解決するために、以下の構成を有することを特徴とする。

( 1 ) 本開示の第 1 態様に係る視標呈示装置は、多数の画素を持つ表示パネルと該表示パネルを背後から照明するバックライトとを有するディスプレイを備え、前記表示パネルの各画素の透過率を変更して前記ディスプレイの画面の背景の中に検査視標を表示する視標呈示装置において、背景の輝度を第 1 輝度として、検査視標を表示する昼間検査モードと、前記背景の輝度を前記第 1 輝度よりも低く、夜を想定した第 2 輝度として、検査視標を表示する夜間検査モードと、を切換えるモード切換手段と、昼間検査モードでは前記第 1 輝度となるように前記バックライトの光量及び各画素の透過率を制御し、夜間検査モードでは前記第 2 輝度となるように昼間検査モード時に対して前記バックライトの光量及び各画素の透過率少なくとも一方をさらに低下する制御を行う制御手段と、を備えることを特徴とする。